議題９

<table>
<tr><td>区分</td><td colspan="4">■ 新　規　　□ 再提案</td></tr>
<tr><td>種類</td><td colspan="2">□ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの
■ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの
□ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの
□ その他（　　）</td><td>分野</td><td>□ 総務文教
■ 社会環境
□ 経済
□ 危機管理建設</td></tr>
<tr><td rowspan="3">要望先</td><td>■ 国</td><td>担当省庁</td><td colspan="2">厚生労働省</td></tr>
<tr><td>■ 県</td><td>担当部局</td><td colspan="2">健康福祉部　保健・疾病対策課　障がい者支援課</td></tr>
<tr><td>□ その他</td><td>名　　称</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>**件名**</td><td colspan="4">**在宅酸素等電子医療機器利用者に対する非常用電源設置等助成について**</td></tr>
<tr><td>**提案市**</td><td colspan="4">小諸市</td></tr>
<tr><td>**提案要旨**</td><td colspan="4">大規模災害による長期間の停電に備え、在宅で電子医療機器を使用している障がい者、難病患者らに非常用電源設置等の購入費の補助制度の創設を要望する。</td></tr>
<tr><td>**提案理由**</td><td colspan="4">近年、国内で頻発している大規模災害による長期間の停電被害は、人工呼吸器、酸素濃縮器などの医療機器を使用して在宅療養している方、あるいは、真夏で空調設備の停止による高齢者の熱中症の危険性など、生命に直結する課題であると認識している。また、国内での災害報告において、停電発生時には在宅療養者の方々から一斉に病院への救急搬送の要請が集中し、救急車が到着しない、あるいは病院等受入側に混乱が生じた事例が報告されている。
市町村によって、在宅療養者数には大きな違いがあることが想定でき、また、現在使用している医療機器の種類や製造メーカーも多種多様で専門性が高いことから、国、県により、多角的、広域的な補助制度の創設が必要と考える。</td></tr>
<tr><td>**現況及び課題等**</td><td colspan="4">災害初期においては、自助による個別対策が必要となるため、平時より、家族、医療関係者、電力事業者及び医療メーカーと、対策を考えておくことが重要である。その対策のひとつとして、在宅療養者に対する非常用電源設置は、災害初期の自助対策として有効と考えられる。</td></tr>
<tr><td>**関係法令**</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>